

委員会での審査

3月5日から12日に各常任委員会が開催され、付託された議案等を審査しました。
(紙面の都合上、質疑の一部を掲載します。)

総務

◆八街市一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 管理職手当を定率制から定額制に変更することによる効果はどう。

答 約190万円の歳出が削減できます。

問 地域手当の率を5パーセントから3パーセントに改めることによる効果を伺う。

答 2パーセント削減することによりまして、全体で約6千万円の歳出が削減できます。内訳は、

地域手当が約4千300万円強、期末手当への跳ね返り分が約1千100万円、勤勉手当への跳ね返り分が約530万円です。

◆八街市一般職の職員の管理職手当等の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 管理職手当を20パーセント減額することによる効果を伺う。

答 890万円の歳出を削減できます。内訳は、定率制から定額制にすることにより190万円、定額制後の管理職手当を20パーセント減額することにより700万円です。

総務常任委員会



◆落花生の郷やちまた応援寄附金によるまちづくり条例の制定について

問 より多くの寄附をいただくための方策はあるのか伺う。

答 他の自治体では、寄附金をいただくために特産物を送るなどのお礼をしているところもありますが、本市においては、そういった対応をとることは現時点では考えていません。しかし、寄附をいただいた方には、本市の産業まつり等の案内状を送付し、本市の様子を見に来ていただくといった案はあろうかと思っています。

◆平成21年度八街市一般会計予算について

問 市税について、平成19年度決算の収納率77・58パーセントに対して、平成21年度の収納率見込みを76・7パーセントとしているが、収納率を下方に見込んだ要因を伺う。

答 平成21年度の収納率について、市税、軽自動車税の現年課税分については、共に若干の伸びを見込んでいますが、固定資産税については、平成20年度に評価替えを行ったことなどから、平成21年度では減額が見込まれており、これにより全体の収納率については若干下方に見込んでいます。また、滞納繰越分の徴収率が上がらないということも原因の一つと考えています。

問 国の地方財政計画の特徴では、地方交付税で1兆円の増額措置がとられているが、八街市にはどのくらいの配分が見込まれているのか。

答 昨年に比べ約3.4パーセント増の予算計上をしています。これは平成20年度普通交付税が当初予算よりも2億2千万円ほど上まわっているため、平成21年度もそれを見込み、27億5千万円を計上しています。

問 平成21年度予算におけるハッダム関係への出資金はいくらか伺う。また、今後の負担を合計すると総額でいくらなるのか伺う。

答 平成21年度における出資金は約710万円です。この平成21年度以降、31年度までで合計約4千400万円となります。

文教福祉

◆平成21年度八街市一般会計予算について

問 障害者通所施設交通費助成費が、前年度と比べ、半減している理由を伺う。

答 障害者通所施設送迎事業補助金の減に伴うものです。平成19年度、20年度においては、臨時特例交付金による通所サービス促進事業を準用して、1事業所あたり300万円を基準として利用人数に応じた助成を行っていましたが、本事業の実施年度が平成20年度までとされていることから、従来の補助金である利用者1人あたり月々7千円の助成としたことによるものです。

問 教育支援センター管理運営費について、学校教育相談員の詳細を伺う。

答 教育支援センター「ナチュラル」に週3日、3名の相談員が1週間を振り分けて勤務しています。また、1名は学校教育課に席を設け、家庭訪問を専門に行っています。実績は上がっており、家庭から

学校に復帰したケースも3件ありました。

問 準要保護児童就学援助費について、平成21年度の計上額は208名分ということで、例年並みであるが、経済状況の苦しい家庭が増えているなかで実態に則していないと思われるが如何か。

答 今まで申請があった方を断ったケースはありません。随時、申請に従って、予算措置等をし援助していきます。

文教福祉常任委員会

